

東海地区

# 学校事務会報

第131号

令和元年12月24日

発行：東海地区公立小中学校事務研究会

<http://toukaijimuken.sakura.ne.jp/>

今年度8月と10月に開催されました愛知県・岐阜県・三重県の研究大会の概要と参加された方の報告・感想等を紹介いたします。



## 【愛知県公立小中学校事務研究大会】

- 1 期 日 令和元年10月25日（金）  
2 会 場 蒲郡市民会館  
蒲郡市栄町3-30  
3 大会テーマ  
「協働・創造・発信！ チームでつなぐ  
子どもたちの笑顔」



- 4 内 容  
(1) シンポジウム  
テーマ「学校の業務改善と働き方改革」  
シンポジスト  
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部  
研究開発第1部 すこやかライフデザイングループ 主席研究員 善積 康子 氏  
愛知県小中学校長会 副会長 岡崎市立矢作北小学校 校長 小嶋 利之 氏  
コーディネーター  
愛知県公立小中学校事務職員研究会 副会長 大野 正親  
(2) 支部専門部発表会  
第1分科会〈前半〉「未来を拓く子ども」の育成のために (一宮支部)  
—縦と横のつながりが織りなす共同学校事務室へ—  
第1分科会〈後半〉共同学校事務室の未来 (丹葉支部)  
—若手事務職員が描く財務ドリーム—  
第2分科会 共同実施を一步前へ！ (豊田支部)  
—子どもの学び・育ちを促す授業づくりへのかかわりと学習空間づくり—

## 参加報告

岐阜県可児市立帷子小学校 廣瀬佳世子

第57回愛知県公立小中学校事務研究大会に参加させていただきました。

シンポジウムでは「学校の業務改善と働き方改革」をテーマに、コーディネーターと2名のシンポジストで討論が行われました。その中で「意識をかえると居場所が変わる」「イメージがないと自分のやり方でしか仕事ができない」など印象に残る言葉がありました。教員のすきまをうめることを目指していくのではなく、教頭先生たちとともに学校運営に参画する。組織の人間関係が学校の改善につながる。そのためには、事務職員はコーディネーターになり、意見の言いやすい環境づくりをすることが大切だと感じました。

午後からは、一宮支部と丹葉支部の分科会に参加させていただきました。一宮支部は、「未来を拓く子ども」の育成のために一縦と横のつながりが織りなす共同学校事務室への提案があり、実践を通して共同実施グループ内での縦のつながり、他のグループとの横のつながりが織りなされ共同学校事務室へつながっている様子がわかりました。風岡先生、横山先生からリーダー層の役割についてなど助言があり、とても参考になりました。

丹葉支部は、「共同学校事務室の未来」一若手事務職員が描く財務ドリームをテーマに若い世代の方たちからの提案でした。1本の木をモチーフに、企画提案型の共同学校事務室で、財政面から学校運営を支える取り組みが紹介されました。若い世代のパワーと活躍にとってもいい刺激をいただきました。みなさんの実践を自分の地域での取組に活かしていきたいと感じた一日となりました。



静岡県磐田市立富士見小学校 山本幸治

第57回愛知県公立小中学校事務研究大会に参加しました。あいにくの雨の中、愛知県の方々と共に勉強する貴重な機会となりました。

まず、「学校の業務改善と働き方改革」をテーマにシンポジウムが行われ、その中で印象に残ったのは「働き方改革というと人的、財政的な支援を求めがちだが、厳しい財政により期待ができないからには事務職員が学校運営に参画してもらえない。」との言葉でした。事務職員が学校の働き方改革の行方を左右する存在であることに身が引き締まる思いでした。

午後は豊田支部の分科会へ参加しました。共同実施を一步前へ進めるために、日々研究されている様子が十分伝わってきました。演習が行われ、報告の折に共同研究者の木岡先生からの厳しい指摘に戸惑う場面もありましたが、今まで私たちがしてきたこと（事務処理や財務）だけではこれからは通用しないと感じたと思います。私も演習に参加して木岡先生と意見交換できなかったことが残念です。学校に戻ったら事務職員による「授業の改善」を実現してみたいと思います。



### 静岡県磐田市立磐田北小学校 伊藤有紀

令和元年度 愛知県公立小中学校事務研究大会に参加させていただきました。

午前中は「学校の業務改善と働き方改革」をテーマとして、シンポジウムが行われました。教員が子どもと向き合う時間を確保するには、事務職員の力を借り、教員の事務作業をなくして時間を生み出すことが必要です。しかし、事務職員が教員の隙間を埋めるための人材確保という意味ではなく、コーディネーターとして学校運営に参画していくことが大切です。

校長は後ろからの眼差し（評価）、教頭は前からの眼差し（観察）、事務職員は横並びの眼差し（教員との協働）をという言葉が印象的でした。

午後は分科会方式で、2つに分かれて行われました。私は第1分科会に参加しました。前半を一宮支部が担当し、自校の課題に気づき解決へ向けて共同学校事務室をどのように活用していくか、自ら動くことができる仕組みとして、縦と横のつながりを活用した共同学校事務室組織についての取組を聞くことができました。

後半の丹葉支部では、共同学校事務室で財務面において実現したい夢を「財務ドリーム」と名付け、その実現のために「OODA（ウーダ）ループ」を活用して具体策を提案しました。依存型ではなく、全ての事務職員が企画提案型の共同学校事務室の室員という意識改革が必要で、財政に裏付けられた真正の学びを教育とともに創ることが財務ドリームの実現である、という言葉で締めくくられました。

若い事務職員のパワーを感じることができた素晴らしい研修会でした。



### 三重県津市立栗真小学校 谷口友加里

愛知県公立小中学校事務研究大会に参加させていただきました。午前中は「学校の業務改善と働き方改革」というタイトルでシンポジウムが行われ、シンポジストとして三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社の善積康子氏の講演を聴きました。中でも印象に残ったのは、職場が汚いとそれが精神状態にも影響を与えるという話でした。翌日から早速見える場所から片付けていこうと思いました。

午後は第一分科会に参加し、一宮支部と丹葉支部の発表を聞きました。一宮支部からは「未来を拓く子ども」の育成のために一縦と横のつながりが織りなす共同学校事務室へーというタイトルの発表がありました。共同実施の現状を元に目指すべき共同実施の標準化という課題について、共同実施での業務についてどのように行っていくのが適切かという業務改善の提案がありました。各改善担当がそれぞれの業務を如何に改善していくかという提案を常に行っていくことで共同実施の業務が今後進化していくように感じました。

後半の丹葉支部からは、「共同学校事務室の未来ー若手事務職員が描く財務ドリーム」というタイトルで発表がありました。若手中心の企画提案型組織という点で参考にする点が多々あると思いました。中でも発表の中心となったOODA（observe 観察、orient 状況判断・方向付け、decide 意志決定、act 行動）サイクルによる課題解決手法は是非取り入れたいものでした。「方向付け」や「意志決定」が入っている点がより学校事務職員に合った実際的で有用なものではないかと感じました。OODAサイクルを何度も回していくことで、迅速に

これまでにない状況に対応していけるように思いました。



## 【岐阜県小中学校事務職員夏季研修会】

- 1 期日 令和元年8月19日（月）
  - 2 会場 不二羽島文化センター
  - 3 テーマ 子どもたちの豊かな育ちを実現する学校事務  
ー学校経営をサポートする共同実施の推進ー
  - 4 内容
    - 【講演】演題「小・中・高等学校におけるキャリア教育の推進等について」  
文部科学省初等中等教育局児童生徒課 キャリア教育推進係 係長 今井 鉄也 氏
    - 【本部報告・事務の日PR】
    - 【分科会】
- 第1分科会 令和元年度 教職員等中央研修 事務職員研修参加者による伝達講習  
担当 令和元年度 中央研修参加者  
助言者 文部科学省初等中等教育局児童生徒課  
キャリア教育推進係 係長 今井 鉄也 氏
- 第2分科会 働き方改革と事務職員の役割  
担当 県事研本部  
講師 先生の幸せ研究所・WLBC 関西 代表 澤田 真由美 氏
- 第3分科会 カリキュラム・マネジメントで“ええ顔”あふれる学校づくり  
担当 県事研特別部会  
助言者 国立大学法人岐阜大学大学院教育学研究科  
教職実践開発専攻（教職大学院）特任教授 足立 慎一 氏
- 第4分科会 全事研千葉大会分科会発表 体験学習  
担当 東海事務研 研究プロジェクト  
助言者・指導者 南山大学 人文学部心理人間学科 准教授 池田 満 氏  
「子どもたちの豊かな育ちを実現する学校事務」

## 参加報告

愛知県西尾市立平坂中学校 早川智美

8月19日、不二羽島文化センターにて行われた研修会に参加しました。午前の講演では、演題「小・中・高等学校におけるキャリア教育の推進等について」として、文部科学省初等中等教育局児童生徒課 キャリア教育推進係 係長 今井鉄也氏による講演でした。キャリ

ア教育と職業教育は、言葉を区別しており、その課題と基本的方向性について示されました。特に、キャリア教育は、幼児期の教育から高等学校まで、発達の段階に応じ体系的に実施し、様々な教育活動を通じ、基礎的・汎用的能力を中心に育成すべきである。また、その能力とは人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力であり、キャリア教育とは生き方教育であるという話が印象的でした。

午後は、第3分科会「カリキュラム・マネジメントで“ええ顔”あふれる学校づくり」をテーマとして行われました。その中では、カリマネの構造図が示され、カリキュラム実行のためには、教育活動と経営活動が相互に関わることで成り立つ。その中で事務職員は、ミドルリーダーのリーダーシップを担う位置であると言われました。「学校予算の見える化」の実践事例が紹介され、学校全体で政策的予算の使い方を決める取組みを事務職員がリードして進めてみえる様子も伺えました。着実な実践が大変刺激となった有意義な分科会でした。



#### 静岡県富士宮市立大宮小学校 小沢 泰

猛暑厳しい中、開催されました。開会式で岐阜県小中学校事務職員部会会長・二村博文氏からの挨拶で「今だかつてない大きな転換期」「働き方改革で事務職員がキーパーソン」「主体的、積極的に支援していきたい」「専門性を向上させ、関係機関と連携を推進していきたい」との言葉から、来年度の全国大会へ向けて布石となる夏季研修会を感じました。

午前の講演では、文部科学省の今井鉄也氏から話を伺いました。岐阜県公立小中学校事務職員から出向されている方で、文部科学省で取り組まれているキャリア教育推進/学校における働き方改革等の内容について豊富な資料から順次説明されました。事務職員に求められる役割として、「人びとは、仕事を与えられるのではなく、責任を与えられる」との語句の引用や共同学校事務室の設置の制度化から、事務職員のマネジメント力や事務職員の俯瞰的な視野の必要性、さらに「3つの立場」①国・教育委員会の立場②管理職の立場③事務職員の立場から物事を考えて整理する方法等、大きな役割が発揮できる立場であることを改めて感じました。

午後は4つの分科会に分かれ、1 中央研の伝達講習内容・2 働き方改革から業務改善について・3 カリキュラムマネジメントの関わり方・4 体験学習 GTO 手法とそれぞれ多岐に渡った分科会運営でした。どの分科会でも、明るく、生き生きとした表情で積極的に参加している事務職員の姿を目の当たりにして、企画運営や参画といったことが日ごろの業務から当たり前前にできる土壌ができあがってきていることを感じました。ある分科会で「いごちのいい職場」が重要であり、そこから「新しいアイデアや発想が生まれる」とのヒントをいただきました。私たち事務職員は、これからの激動な時代に対応しなければいけません。柔軟に様々な関係諸機関や校長会、他職種等と連携を密にして向き合っていけたらと感じました。



## 三重県四日市市立朝明学校 吉田 悠

岐阜県小中学校事務職員夏季研修会に参加させていただきました。午前の講義「小・中・高等学校におけるキャリア教育の推進等について」では、キャリア教育の必要性について話がありました。今後、産業・経済の構造的変化に伴い、全ての子どもたちの生き方に影響することを踏まえ、様々な課題があることを教えていただきました。私は、学校という場所は、社会で生き抜く力を育てる場所だと考えています。自校の現状を理解し、学校で働く教職員として、しっかりと今後に向けて目を向けていこうと思いました。

午後の第4分科会では、「全事研千葉大会分科会発表 体験学習」に参加しました。目標→取組→評価までのつながりを意識することで、今やっている仕事の必要性や意味を理解することができる考え方を教えていただきました。大目標の下に中目標、さらにその下に小目標をつくり、ビジョンに一貫性を持たせ、バックキャストで業務を遂行していくやり方でのグループワークが行われました。

法改正により、事務をつかさどるに変わり、校長を補佐する役割が求められている。事務職員として、学校の教育目標を意識しながら、仕事をしていきたいと思いました。



## 【三重県公立小中学校事務研究大会】

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| 1 期 日                      | 令和元年10月17日(木)                          |
| 2 会 場                      | 三重県男女共同参画センター<br>津市一身田上津部田1234         |
| 3 大会テーマ                    | 子どもの豊かな育ちを実現する学校事務                     |
| 4 内 容                      |  |
| (1) 講 演                    |  |
| 講 師                        | 愛知教育大学 学部改革担当副学長<br>教育ガバナンス講座教授 大村 恵 氏 |
| 演 題                        | 「次世代の学校と学校事務職員」                        |
| (2) 研修講座                   |  |
| 講 師                        | 津市立西が丘小学校 教頭 福本 博 氏                    |
| 演 題                        | 「新学習指導要領について(カリキュラムマネジメントについて)」        |
| (3) 令和2年度全国大会(岐阜大会)提案 プレ発表 |  |
|                            | プロジェクト委員によるプレ発表                        |
| (4) 支部実践レポート発表             |  |
| 員弁支部                       | 「パソコンを用いたおたよりの作成・情報発信について」             |



- 桑名支部 「共同実施『情報』担当者会における事務支援」
- 三河支部 「若者による若者のための『月別仕事一覧』」
- 鈴鹿支部 「鈴鹿市教育研究会 班別研修 学校事務班での実践」
- 亀山支部 「新規採用者に対する相談・研修」
- 津支部 「若手事務職員育成とその疑問からの学び

(受講者としての視点から)」

- 松阪支部 「松阪市の事務職員研修」
- 伊勢支部 「共同実施協議会による『内外にひらく』研修企画」
- 度会支部 「提案する事務職員になろう！」
- 鳥羽支部 「研修をとおした共同実施の継承とさらなる充実」
- 伊賀支部 「情報をつなげる～協働の視点から～」
- 尾鷲支部 「新学習指導要領改訂に伴う教育環境整備」
- 熊野支部 「支部における人材育成・資質向上のとりくみについて」

## 参加報告

### 愛知県豊川市立小坂井東小学校 菅沼直美

10月17日、第56回三重県公立小中学校事務研究大会に参加させていただきました。  
 開会行事に続き、愛知教育大学学部改革副学長で教育ガバナンス講座教授の大村恵氏が「次世代の学校と学校事務職員」と題して講演をされました。困難を要する子どもたちの現状、教員が置かれている状況や予想困難な社会の到来などについて分析され、チーム学校の重要性や次世代の学校づくりにおける学校事務職員への期待が大きくなっているとお話しされました。その後、研修講座として、津市立西が丘小学校教頭の福本博氏による「新学習指導要領について（カリキュラムマネジメントについて）」の講演がありました。三重県教育委員会事務局に勤務された経験と現在の教頭という立場から、「学校事務をつかさどるために、カリキュラムマネジメントを理解する」を目標に、難しく考えてしまいがちな「カリキュラムマネジメント」を「つかさどる」ということに関連付けて、わかりやすくお話しをいただきました。

午後には、令和2年度全国大会提案に向けて研究をされているプロジェクト委員によるプレ発表を聴かせていただき、若手委員のみなさんの前向きな取組に頼もしさを感じました。その後の支部実践レポート発表は4つの会場に分かれ、一つの支部が実践発表をするごとにその実践についてグループ討議をするという形式でした。短時間ではありますが、少人数での意見交換は地域や世代を超えて各自の考えを伝えることができ、今後の実践に活かすことができると思いました。

この大会に参加させていただき、学校事務職員の役割や地域や職場に根ざした学校事務のあり方について、あらためて考える良い機会になりました。ありがとうございました。







実践発表もとても参考になるものでしたが、グループ協議の中で、三重県内でも地域によって環境や課題が異なることや静岡にも共通することなどをざくばらんに意見交換でき、短い時間でしたが楽しく過ごさせていただきました。ありがとうございました。